



尾道市立市民病院理念

尾道市立市民病院は、信頼される安全で質の高い医療を提供し、市民の皆さまの健康を守ります。



ごあいさつ

副院長兼統括診療部長 突沖満則

4月に迎えた新人職員も研修期間を終え、それぞれの職場で新戦力として活躍し始めたところですが、まだ不慣れなところも多く、ミスの許されない環境の中で、多くの不安やストレスを抱えながらも医療人としてのステップアップを求められているところです。

また、4月からの変化と言えば、尾道市立夜間救急診療所が尾道市立市民病院から分離独立され、尾道市総合福祉センター敷地内に移転されたことであります。これに至るまでには、尾道市医師会の強力なリーダーシップの下、松永沼隈地区医師会、因島医師会をはじめ尾道圏域の全ての医療資源を結集して救急医療を守ろうという諸先生方の多大なご理解とご協力に支えられ、尾道市長、副市長のバックアップを得ながら、尾道地区救急医療検討委員会の長年にわたる努力のたまものと感謝いたしております。これにより当院の当直医の負担が軽減され、二次医療機関としての役割の充

実に向けさらなる努力をして参るとともに、夜間救急診療所が円滑に運営されるよう一翼を担いたいと思っております。

4月からは消費税が8%に増税され、社会保障費充実のための目的税とされながらも、平成26年度の診療報酬改訂は、実質マイナス改訂です。36万床の7対1入院基本病床を9万床の削減を図るなどの内容から、当院も今後急性期病院として運営していくために一層の努力が必要とされています。平均在院日数、紹介率、逆紹介率はもとより、病棟ごとの重症度、看護必要度、在宅復帰率等、これまで以上に厳しい数値目標が掲げられており、さらなる地域連携の強化なくしては乗り越えられない課題が山積となっております。

当院の基本方針でもある「地域の医療機関との連携」をさらに緊密にし、「良質な医療の実現」に向けて職員一丸となって奮励努力致しますので、これからもご指導ご鞭撻の程よろしく願い申し上げます。

第2回病院まつりを開催しました



第2回病院祭りを終えて

本年度の病院祭りを5月31日に開催いたしました。これで2回目となりましたので、比較的準備のほうは順調にできたと思っています。

幸い天候に恵まれましたが、夏本番のような熱い気温のため、氷菓などの冷たいものも準備できれば良かったのではなかったかと少し反省しております。

病院祭りは、元々地域の皆様方との交流を深める目的で催されています。限られたスペースで、子どもを対象にした医療体験や生活習慣病予防のための情報提供

などもさせていただきました。また同時に高校生医療体験セミナーも開催し、これからの医療をになう可能性のある若い人材にも、いろいろな経験をさせていただけたようです。今回も特定検診を院内で実施したため、検診を受けられた方にも、病院まつりも見学していただきました。

職員のアイデアで様々な展示コーナーを設け、簡単な検査（頸動脈エコー、血管年齢の検査、骨密度測定など）も施行させていただきました。なお時間の制約のため好評ではありましたが、一部の検査をお断りさせていただくほどでした。

ステージイベントとしては高須小学校から夢キラ合唱部、栗原中学校の音楽部、大正琴の演奏、びさんじんによるよさこい踊り、橋田順子コンサートを開催し、多数の参加者の目、耳を楽しませていただけたと思っています。

病院祭りは、参加した職員に目標に向けて一致団結して活動するという副次的な効果ももたらしたと思っています。普段の通常の医療業務と異なった仕事に、生き生きとたずさわっている姿も見受けられました。祭りは見るだけでなく、実際に自ら参加しての楽しみも多いようです。

最後にOBもふくめて多数の当院の職員、ボランティアの方、尾道大学の学生、尾道消防署、ニチイ学館、MOA美術館の関係者の方々にも、開催の準備また当日のご支援をいただき感謝申し上げます。

病院祭り実行委員長 土本正治（副院長）



橋田順子さんのコンサート

楽しい曲と美しい歌声に
みんな元気をいただきました。

高須小学校夢キラ合唱部



息の合った歌声が響きわたりました。



心臓マッサージのコーナー

この経験を活かしていきたい!



職員みんなで作製したポスター

お年寄りの
気持ちが良く
分かります。



老人体験コーナー



かえるさんがお出迎え♪



ゲームコーナーも大人気!

手術は緊張しますね。
むずかしいです。



高校生医療セミナー
での模擬手術体験

入院支援センターを設置しました

このたび当院では、平成26年4月1日付けで、入院される患者さんへのサービス向上(満足度の向上)の一環として地域医療連携室に「入院支援センター」を設置し、4月7日より業務を開始しています。

現在は、仮設の場所で業務を行っていますが、今後は、入院前から退院まで患者さんを支援する「(仮称)入退院支援センター」を目的としています。

今後も業務改善を行いながら入退院に関する業務の集約化を行い、地域医療連携業務と一体的なものとして構築するため、「(仮称)入退院支援センター」が早期に開設できるよう取り組んでまいります。

この構想は、昨年7月、看護部門が中心となり、患者さん及び家族の方に対して十分な説明を行い適切に準備することにより、入院や治療などに対する不安を軽減し、より安全な入院療養を受けられることを目的としてこのたび、開設したものです。

当面のスタッフは、専任の看護師2名と事務1名でスタートしています。

今まで、各外来及び病棟で行っていた、入院オリエンテーションと情報収集、入院準備を一体化することにより、医療スタッフの業務量の軽減、ひいては、医療効率アップへつながることも期待されています。

対象患者さんは、まず外科の予約入院患者から開始しており、5月からは整形外科予約入院患者へ拡大し対応しています。今後、順次他科へも拡大する予定です。



新任医師の紹介・ごあいさつ



整形外科
木曾洋平 医師

平成26年4月から尾道市立市民病院整形外科に勤務をさせて頂いております。広島県尾道市の出身で平成22年に岩手医科大学を卒業し、初期研修は東京の病院で行い、平成24年に岡山大学整形外科に入局いたしました。岡山労災病院で整形外科の研修を開始し、外傷を始め膝・股関節の人工関節、脊椎疾患や慢性疾患など幅広く経験をさせて頂き、この度地元である尾道市市民病院に赴任して参りました。

約10年ぶりに尾道に戻ってきましたが、尾道の景色、雰囲気は変わらず、改めて地元の良さを感じており、色々と散策をしております。

現在は外傷を中心に治療を行わせて頂いており、当院の特色である肩疾患の勉強もさせて頂いております。

まだ知識・経験不足で至らない点もあり、ご迷惑をおかけすることもあると思いますが、微力ながら地元尾道の医療に貢献できるように日々精進してまいりますので、何卒ご指導・ご鞭撻のほどよろしく御願致します。



放射線科
小牧稔幸 医師

平成26年4月より尾道市立市民病院放射線科で勤務させて頂いております。私は兵庫県加古川市の出身で、平成24年に岡山大学を卒業しました。平成26年3月に岡山大学病院で初期研修を終了し、平成26年4月に岡山大学病院放射線科に入局、この度尾道市立市民病院へ赴任してきました。

私にとって尾道は初めての地でしたが、尾道の方々には暖かく迎えていただき、早くも尾道のことがとても好きになりました。まだ訪れていない尾道の名所がたくさん残っているので、これから訪れるのを楽しみにしています。

現在私は放射線科で画像診断と血管内治療を中心に行っています。病院スタッフの方や患者さんと接する機会が比較的少ない診療科ではありますが、病院を支える一員としてしっかり貢献していきたいと考えています。

まだ不慣れな点も多く、ご迷惑をおかけすることもあるかもしれませんが、地域医療に貢献していけるよう日々精進して参りますので、よろしくお願致します。

専門看護師(がん看護)誕生！

＜専門看護師＞

専門看護師は、専門看護分野において以下の6つの役割を果たします。

1. 個人、家族及び集団に対して卓越した看護を実践する。(実践)
2. 看護者を含むケア提供者に対しコンサルテーションを行う。(相談)
3. 必要なケアが円滑に行われるために、保健医療福祉に携わる人々とのコーディネーションを行う。(調整)
4. 個人、家族及び集団の権利を守るために、倫理的な問題や葛藤の解決をはかる。(倫理調整)
5. 看護者に対しケアを向上させるため教育的役割を果たす。(教育)
6. 専門知識及び技術の向上並びに開発をはかるために実践の場における研究活動を行う。(研究)

専門看護師

渡辺陽子



特定されている分野は、がん看護、精神看護、地域看護、老人看護、小児看護、母性看護、慢性疾患看護、急性・重症患者看護、感染症看護、家族支援、在宅看護の11分野です。

専門看護師の認定審査を受けるには、看護系大学院修士課程修了者で日本看護系大学協議会が定める専門看護師教育課程基準の所定の単位(総計26単位または38単位)を取得していることです。

平成26年4月現在、専門看護師は全国に1266名が認定され、がん看護専門看護師は全国に514名、そのうち広島県内では15名が活動しています。

がん看護専門看護師には、患者さんご家族のQuality of Life(生活の質)の視点に立った水準の高い看護を提供する役割があります。がんと診断され、入院生活や在宅療養中における癌治療における不安や心配事の相談に応じております。がん患者さん、ご家族の方と一緒に考え、悩みながら、納得のいく最善のがん医療が受けられるよう支援させていただきたいと考えています。

私は、6年前、外来化学療法室専従看護師になり、化学療法を受けている患者さんこそ緩和ケアが必要だと感じ、がん看護の学びを深めたいと思い、岡山大学大学院への進学を決意しました。岡山大学では、長期履修制度があり、勤務しながら勉学し履修できるということで、2年間は通学し、科目履修を習得しました。3年目に四国がんセンターと岡山大学病院で実習を行い、4年目に修士学位論文を作成しました。大学院生活4年間、公私ともにつらい時期もありましたが、病院職員の方々、上司、同僚スタッフ、そして家族、友人の理解と温かいご支援がなくては無事修了することはできなかったと思います。多くの方に感謝申し上げますとともに今後ともご指導よろしくお願申し上げます。

治験について

当院では平成25年11月より治験業務を開始しております。今回治験について簡単ではございますが、ご紹介させていただきます。

【治験とは？】

開発中の「くすりの候補」が「くすり」となるためには、人において効果（有効性）や安全性を調べる必要があります。治験は、「くすりの候補」を患者さんに使用していただき、その過程で効果や安全性を確認し、国(厚生労働省)から「くすり」として認めてもらうために行う臨床試験です。「新しいくすり」を誕生させるためには、患者さんの理解と協力を頂き、多くの医療の現場で調べる必要があります。

【治験の流れ】

くすりの候補となる成分を発見することから始まり、品質試験や動物試験で効果や安全性を確認してから初めて人に投与されます。治験は3つのステップを踏んですすめられます。

第1相試験

健康な方(薬の種類によっては患者さん)に「くすりの候補」を使用し主に安全性の調査を行います。(当院では第1相試験行っていません)

第2相試験

比較的少数の患者さんに「くすりの候補」を使用し、主に使用量の調査(有効でより安全な使用量はどれか)を行います

第3相試験

多数の患者さんに「くすりの候補」を使用し、主に効果と安全性の広範囲な調査を行います。

以上の3つのステップが終了したところで製薬企業が各試験のデータをまとめ、厚生労働省の厳正な審査を経て、承認されることによって初めて、「くすりの候補」が「くすり」となります。

【治験はどのようにして行われるの？】

「治験」は薬事法と厚生労働省が定めた「医薬品の臨床試験の実施基準：GCP」に従い、参加される患者さんの人権と安全性を最優先に考えて行われます。

- ・患者さんのプライバシーは厳重に保護されます。
- ・治験の目的、方法、特徴（予測される効果と副作用）など十分な説明をさせて頂き、患者さんがその内容をよく理解し納得された上で、治験に参加することに同意して頂きます。
- ・患者さんに快く参加していただけるように、担当医師をはじめ、治験コーディネーター（CRC）、看護師、薬剤師、検査技師、事務員等が連携して行います。
- ・「治験」に参加して頂ける患者さんに対しては診察・検査等を通常より詳細に行うことで安全性に十分注意を払います。
- ・治験期間中に飲んで頂く治験のお薬や検査にかかる費用は治験を依頼している企業等が負担します。また交通費に活用できる費用（負担軽減費）も支払われます

当院では病気に苦しむ患者さんの一助となるべく治験に協力しております。現在、参加募集中の治験については当院のホームページに掲載しております。治験に関するご相談は、治験事務局まで遠慮なくご相談下さい。

お問い合わせ先: 尾道市立市民病院 治験事務局 向井弘恵 村上史承 TEL: 0848-47-1155 (代表)

職員顕彰制度

「尾道市立市民病院職員顕彰制度」の3回目となる受賞者が決定し、患者さんアンケートにより18名、職員からの推薦により7名、計23名(重複2名除く)の職員を表彰しました。

この制度は、全職員の資質と意欲高揚を図ることを目的としています。表彰の対象は、看護師・コメディカル、事務職等、医師を除いた全職員を対象としています。

職員顕彰の受賞者は、尾道市立市民病院厚友会総会という病院全体の歓送迎会にて表彰されます。今年も4月17日に開催されましたが、点滴処置室の森由紀看護師が受賞者の総代として300人以上の出席者の前で、院長から表彰状を受け取りました。

この顕彰制度が全職員の意欲高揚につながり、業務改善に役立つものと期待しています。患者さんから、例年よりも多くのアンケートを頂き表彰者も増えました。今後も職員の励みにしたいと考えておりますので、ぜひご協力をお願いします。

平成25年度 職員顕彰表彰者

患者さん推薦

[リハビリ科] 岩崎 有紀 (作業療法士)	[耳鼻いんこう科] 小林 恭枝 (医療アシスタント)	[新設3階] 小川 浩代 (看護師)	[新設3階] 田中 香苗 (看護師)
[再来病室内] 大下 至子 (ボランティア)	[消化器センター] 田内 よしえ (看護師)	[点滴処置室] 神庭 裕子 (看護師)	[内 科] 藤田 久美子 (医療アシスタント)
[リハビリ科] 鹿川 真梨奈 (理学療法士)	[泌尿器科] 平野 久美子 (医療アシスタント)	[点滴処置室] 小早川 和子 (看護師)	[点滴処置室] 森 由紀 (看護師)
[腫 瘍] 冠羽 憲 (医療アシスタント)	[リハビリ科] 森 健次郎 (作業療法士)	[リハビリ科] 小林 敏彰 (理学療法士)	
[内 科] 小林 崇義 (医療アシスタント)	[耳鼻いんこう科] 大池 圭子 (准看護師)	[点滴処置室] 杉岡 美香 (准看護師)	

職員推薦

[耳鼻いんこう科] 大池 圭子 (准看護師)	[産 科] 山本 浩樹 (主事)	[内 科] 小林 崇義 (医療アシスタント)
[5 科 棟] 川村 美香 (看護師)	[地域連携室] 加瀬部 真弓 (看護師)	[薬剤部] 向井 弘恵 (薬剤師)
[医 事 課] 宮久麻子 (ニキイ学級)		

看護部紹介シリーズ②「5病棟、ICU、手術室、3病棟の取り組みをご紹介します！」

5病棟

呼吸器内科(10床)
内 科(15床)
緩和ケア支援病床(25床)



5病棟では、がん治療における化学療法や痛みの緩和ケアに取り組んでいます。

また、高齢者の多い病棟であり、病気と共存しながら療養生活を送られる患者さんの気持ちに寄り添ったケアを提供したいと考えています。患者さんやご家族の喜ばれる笑顔が私たちの励みです。

外来化学療法室



外来化学療法室では、がん治療を継続される患者さんが自宅で安心した患者さん自身のライフスタイルに合わせた生活が送れるよう支援しています。



緩和の和
チーム医療の和



ICU

病床数 8床
看護師 31名
集中ケア認定看護師 1名



ICT成果発表会優勝
感染させない！



人との出会いは人生の財産

平成25年9月1日より、病床数を4床から8床に増床し、スタッフも総勢31名と増員されました。これにより多くの重症患者の受け入れと、地域の救急医療の充実が図れるようになりました。

クリティカル領域の中で、安全に正確に迅速に、最善の医療を提供します。そして、忘れてはならない笑顔とチームワークで、患者さんの持つ力を引き出せるよう、早期回復を願って24時間手厚いケアを提供します。



重症だった患者さんから感謝のお手紙と車椅子を2台いただきました。



看護部紹介シリーズ

手術室

手術室 6ルーム
 麻酔科医師 2名
 看護師 19名



年間約3000件の手術



手術室には、MEセンターから臨床工学技士3名が派遣されています。手術室の業務は、手術室内にある電気メス、除細動器、手術用顕微鏡、内視鏡、レーザー手術装置、無影灯などの各種医療機器の保守管理を行う管理業務を中心に活動しています。



手術件数が増加するなか、業務改善を行い、効率的な手術室の運営に取り組んでいます。医療機器が複雑化するなか、臨床工学技士の配置により、機器トラブルに対しても迅速な対応を行うことができるようになりました。

滅菌消毒部門は外注化し、看護師は本来の看護業務に専念できるようにしています。患者さんの手術体位の工夫等、専門性を活かした看護が提供できるよう頑張っています。

チームワークで達成！
 安全・清潔・スピード！



3病棟

HCU 17床
 個室 8床
 大部屋 2床

看護師 30名
 救急看護認定看護師 1名



いQOLをめざし一日でも早くご自宅へ復帰出来るように支援を続けています。また、慣れない療養環境の中で少しの変化をも見逃さず対応できるようにICDSC（せん妄スケール）シートを毎日記入・評価しています。原因を把握することでADLが制限・低下しないようケア計画につなげています。看護提供体制PNS導入後、一人の患者さんをペアになった看護師二人で受け持ち、患者さんや看護師にも良い効果がうまれてきました。

PNS導入しました！
 ペアでの観察風景



救急外来での風景
 迅速で安全な対応を！

私達、3病棟はクリティカルケア領域にある患者さんに対して、さまざまな診療科の医師とコメディカルの連携をとり、高度で安心・安全な医療を提供できるよう日々頑張っています。病院のミッションである「断らない救急」を一手に引き受けており、救急外来でのトリアージ技術を高め迅速な対応ができるよう努力しています。

入院してこられる患者さんは高齢の方患者さんの残っている力を使い、自分で出来ることを増やしよりよ

気配り、目くばり
 心くばり(思いやり)
 をモットーに頑張っ
 てま〜す！！



尾道市立市民病院科別診療割表

電話番号：0848-47-1155 (代表) 地域連携室：0848-47-1170

2014/6/1現在

区分	科別	月	火	水	木	金	備考
内科	1 診	山脇 泰秀 内科全般	山脇 泰秀 内科全般	金尾 浩一郎 内科全般	山脇 泰秀 内科全般	宮田 明 内科全般	
	2 診		水戸川 剛秀 内科全般	開原 正展 腎・高血圧	水戸川 剛秀 内科全般	橋作 崇智 内科全般	
	3 診	城戸 雄一 内科全般・糖尿病	開原 正展 腎・高血圧	松下 裕一 内科全般・糖尿病	金尾 浩一郎 内科全般	松下 裕一 内科全般・糖尿病	
	4 診				城戸 雄一 内科全般・糖尿病		
	5 診	藤野 寿幸 内分泌・代謝				山脇 泰秀 パーキンソン病	
総合診療科	1 診	片山 晶博	宮田 明	橋作 崇智	橋作 崇智	寺坂 友博	
	2 診		橋本 洋夫 リウマチ・膠原病	巻幡 清			
	3 診			住谷 順子 内科全般・内分泌			
呼吸器内科	1 診	村上 斗司	村上 斗司	検査	村上 斗司	村上 斗司	火曜日午後診療あり
消化器内科	1 診	河合/宮部 ※1	平岡佐規子	河合 良成	河合 良成	宮部 敏生	※1 河合(奇数週) 宮部(偶数週)
循環器内科	1 診	岩崎 淳	圓光 賢希	高村 俊行	高村 俊行	小林 博夫	※2 内科5診で診療
神経内科	診察	小林 博夫	河原 由子			逸見 祥司	予約制
外科	1 診	中井 肇 肝・胆・膵・消化器	宇田 征史 消化器・鏡視下	宇田 征史 外科全般	中井 肇 肝・胆・膵・消化器	村田 年弘 外科全般	
	2 診	松本 朝子 外科全般	上塚 大一 消化器・ヘルニア	上塚 大一 肛門科	川真田 修 呼吸器	川真田 修 乳腺・食道	
血管外科	1 診	越智 吉樹	越智 吉樹	越智 吉樹	越智 吉樹	越智 吉樹	
整形外科	1 診	廣岡 孝彦 (予約)	藤井 淳一	廣岡 孝彦 (予約)	藤井 淳一	廣岡 孝彦 (予約)	※3 木曾(第1・3水曜日) 岡田(第2・4水曜日)
	2 診	木曾 洋平	迫間 巧得	木曾 洋平	田中 千晴	迫間 巧得	
	3 診	藤井 淳一	岡田 卓巳	迫間 巧得	田中 千晴	岡田/藤井 ※4	※4 岡田(第1・3金曜日) 藤井(第2・4金曜日)
	4 診	田中 千晴		木曾/岡田 ※3			
	5 診		装具			装具	
形成外科	1 診	高田 温行	高田 温行	高田 温行	高田 温行	高田 温行	
小児科	1 診	井上 直樹	井上 直樹	井上 直樹 ※5	井上 直樹	井上 直樹	※5 第3水曜日休診
脳神経外科	1 診	土本 正治	大同 茂	岩戸 英仁	土本 正治	大同 茂	
産婦人科	新患再来 妊婦健診	大村 裕一	春岡 朋子 大村 裕一 ※6	大村 裕一	大村 裕一	大村 裕一	※6 9:30より
皮膚科	1 診	樫野 かおり	樫野 かおり	樫野 かおり	樫野 かおり	樫野 かおり	
泌尿器科	1 診	大枝 忠史	堀川 雄平	大枝 忠史	別宮 謙介	大枝 忠史	
耳鼻いんこう科	2 診	別宮 謙介	大枝 忠史	堀川/別宮	大枝 忠史	堀川 雄平	
眼科	診察	診察あり	診察あり	診察あり	診察あり	診察あり	広島大学病院から
放射線科	画像診断	諫見 久恵	諫見 久恵	諫見 久恵	諫見 久恵	諫見 久恵	
歯科・歯科口腔外科	治療	三船 啓文 正岡 佳久	三船 啓文 正岡 佳久	三船 啓文 正岡 佳久	三船 啓文 正岡 佳久	三船 啓文 正岡 佳久	
内科	検診	吉田 明弘	吉田 明弘	手術	吉田 明弘	吉田 明弘	
呼吸器内科	検診	検査	検査	検査	検査	検査	※7 第2・4水曜日
消化器内科	検査	検査	検査	検査	検査	検査	
循環器内科	検査	検査	検査	検査	検査	検査	
循環器内科検査	心カテ	心カテ	心カテ	心カテ	心カテ	心カテ	第1・2火曜日14:00より 13:00~17:00
血管診療センター	検査・診療	検査・診療	検査・診療	検査・診療	検査・診療	検査・診療	
外科	手術	手術	手術	手術	手術	手術	第2・4月曜日
血管外科	手術	手術	手術	手術	手術	手術	
乳腺外科	手術	手術	手術	手術	手術	手術	※8 松岡(第2・4月曜日) 本後(第1・3・5月曜日)
整形外科	手術	手術	手術	手術	手術	手術	
形成外科	手術	手術	手術	手術	手術	手術	
小児科	検査 予防接種	検査 予防接種	検査 予防接種	検査 予防接種	検査 予防接種	検査 予防接種	※9 第2・4(14:00~16:30) ※10 第1木曜日 ※11 第4金曜日(偶数月)
脳神経外科	検査 頭痛外来(土本)	検査 頭痛外来(土本)	検査 頭痛外来(土本)	検査 頭痛外来(土本)	検査 頭痛外来(土本)	検査 頭痛外来(土本)	14:00より
産婦人科	検査	検査	検査	検査	検査	検査	
皮膚科	検査	検査	検査	検査	検査	検査	
泌尿器科	検査	検査	検査	検査	検査	検査	
耳鼻いんこう科	検査	検査	検査	検査	検査	検査	
眼科	検査	検査	検査	検査	検査	検査	※12 14:30より(予約制)
放射線科	検査	検査	検査	検査	検査	検査	予約制
歯科・歯科口腔外科	検査	検査	検査	検査	検査	検査	予約制
専門外来	検査	検査	検査	検査	検査	検査	予約制

1. 休診日・・・土曜日・日曜日・祝日・12月29日から翌年1月3日 2. 診療受付時間・・・午前8時30分から午前11時まで



科別診療割表

診療受付時間
午前8時30分から午前11時まで
休診日 土曜日・日曜日・祝日・12月29日から翌年1月3日

地域連携房室
電話番号
0848-47-1170
0848-47-1155(代)

病院案内図